

感染症防止ガイドライン（ボランティア活動）

ボランティア活動を実施するにあたり、当面の間以下の点に留意してください。

1. 活動参加者全員へのお願い（参加前の確認事項）

- 持病がある方は、重症化するリスクが高いことを十分考慮し、参加の判断をしていただくようお願いいたします。また、参加する場合は十分に感染防止対策をお願いします。
- 海外への訪問歴が2週間以内にある方は参加できません。
- ご自身、ご家族に、2週間以内に発熱、倦怠感等の体調不良がみられた場合は参加をお控えください。
- 当日、少しでも体調不良がある場合は参加できません。

確認項目：発熱、咳、頭痛、倦怠感、味覚異常、下痢、嘔吐 等

- 原則マスク着用をお願いします。特に現地までの移動時はマスクをしてください。
- 活動中、マスクを外す場合は十分な距離を保って行動していただくよう留意してください。

2. 活動参加者全員へのお願い（活動中の留意事項）

- 食事中を含め、活動中は十分な距離を保つように留意してください。
- 一つのものを複数人で使うようなことがないように工夫してください。
- 飲食物の提供・シェアは禁止とします。
- 状況変化による中止・延期判断、必要な対策等については、適宜判断をお願いします。
- 屋内での活動の場合には定期的な換気を行ってください。

3. フィールドリーダーの皆さまにお願い

- 当日、参加者の体調等の確認をお願いします。
- 解散時、帰宅後に手洗い・うがいをするようお願いしてください。
- 毎回、当日の参加者を把握し事務局へ報告ください。また参加者の連絡先を把握してください。

4. 事務局の対応

- 参加申込の方には上記1の項目を周知します。
- 活動参加者に感染症の疑いが判明した場合には、速やかに参加日と当日参加したメンバーを掌握し、保健所へ連絡し、指示に従います。
- 場合により一定期間の活動休止をお願いする場合があります。
- 密をつくらないため、ボランティアの一般受付は最大で15人までとします。